京城新報

人の一生は重き荷を負うて遠き道を行くが如し急ぐべからず

（定價）一ケ月金三十五錢 一ケ年金三圓五十錢 [illegible] 廣告料 [illegible] 行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久與一郎
發行所 京城新報社
京城大和町 電話 [illegible]
仁川支局 仁川 [illegible] 電話 [illegible]

家言 人間の骨董

[illegible]の履歴となるや、是を骨董的の用[illegible]あるもの[illegible]……人間の骨董と云ふものである、一定の[illegible]れを[illegible]、蓋か人民の中でも[illegible]……を聞いた。

[illegible]等武[illegible]に於て長刀を[illegible]て[illegible]立たる[illegible]、新手の面々これに氣を呑まれ[illegible]敢て近寄る者が無かつた、スルと何[illegible]に一刀を[illegible]が無い、是は[illegible]らしい[illegible]近付けば、狡んだ知らぬ[illegible]は既に[illegible]して居る、今で[illegible]所の[illegible]の[illegible]を[illegible]てをるが、當世でも此輩の[illegible]な者[illegible]は[illegible]。

[illegible]のであつて[illegible]扶桑でも日[illegible]日露の二大戰役には[illegible]甲鐵艦とし[illegible]而かも日本帝國最初の甲鐵艦とし[illegible]其[illegible]すべからざる功績と紀念とを存してをるものなるが、其れかと云つて何時迄も過度老朽艦を艦隊の中に加へておいては、他の支障となる、火提も蟻の孔から潰れると云ふ譬に洩れず、如何なる損害を及ぼすかも知れぬ、そこで情に於ては忍びざるも廢艦として砲力の試驗でもして見ようかと云ふ計畫も起つてくるのである。

辨慶でも五銖の物や小童の牛若丸にこそ負けたれ、百戰百勝の勵の畫しやど世間から許されし猛者である、然し立往生をしては最早詮なし、昔支那には本主を載せて殷の紂王を討伐した周の武王と云ふ帝王もあつたが、今假の[illegible]うに個人の自覺が進んで來ては、其手は桑名の燒蛤でトンと通用はしない。要するに、時代後れのものは歴史的紀念物である、歴史や考古學には大切なものであるが必要缺べからざるものであらう、日進月歩の世の中に仕事をして行くには、異平御免を蒙りたいのである。日に日に新に日に又新たなることが出來ねば、百年經ても二百年經ても[illegible]

[illegible]にもならず紀念物にもならず、更に又[illegible]萬[illegible]の辨[illegible]にはならぬ害だ、新[illegible]る人こそ尤も珍重すべく尊敬を拂ふべきものであらう。[illegible]軍人には停年といふ事がある、一定の[illegible]者は[illegible]せしめ、[illegible]を[illegible]して、[illegible]を命じて人間の骨董を排斥してを[illegible]る。然るに軍人以外に此事なきを希望[illegible]とし、殊に上の方の[illegible]ばかりに注意して何時迄も自分の地位に[illegible]付きな[illegible]から[illegible]してをる者が多いが、何[illegible]は[illegible]痛い事ではないか、我輩は[illegible]有[illegible]なる人間の骨董を[illegible]つ[illegible]に碎いてやりたい、其が[illegible]ならば[illegible]も日に新に日に又新に、新らしい智識を[illegible]に注込むことを忘れぬ樣にするがよい。



●東上經費予算

[illegible]當局[illegible]手の[illegible]上經費は[illegible]金額に[illegible]て[illegible]なり[illegible]四十四年度の豫算に[illegible]上したる總額は百五十九万五千五百六十[illegible]にして其内譯を擧ぐれば左の如し（單位圓）

既往の實況に基く算出額 一、五六二、一八五

電話增設に伴ふ增加 七、八七〇

軍事郵便一部廢止に伴ふ增加 三三、一八〇

電報料金改正の結果收入減少額 一二二、二四

振替貯金口座拂込料金 四、四四五

●平壤地方の金融

平壤地方に於ける昨今の金融は朝鮮人側に於て頗る必要を極め從て內地人側も中金利の如き[illegible]引締まれるが目下在庫品の出荷[illegible]あり且市中に於ける貿易商の結氷期中に買占めたる大豆其他雜穀の地方在荷の出廻を見るに及べば格別の事情なき限り漸次金融の緩漫を見るに至るべく近々鎭川地方より同地へむけ大同江の船便によりて廻送する大豆は少くとも二萬五千を下らざる可しと觀測せらる而して之れと共に一方結氷期中に解氷期後の好況を見越して貿ひ溜りたる地方農民の畜市場への出荷數も少からざる見込なるが昨今に至りては平壤大豆の大坂相場も去る一月中に一時仁川廻九圓五十錢を唱へしが[illegible]始き好況なければ今後の大豆相場變動如何によりて同地方經濟界の盛衰を[illegible]

●初航路と鎭南浦

昨年十一月末より結氷の爲め海上の交通杜絶し只だ平南線に因りて從來の連絡を取り來りし鎭南浦も本月[illegible]日[illegible]港し[illegible]上[illegible]の如く鎭洋丸第一[illegible]丸の入港を見て何となく賑はしくなる由なるが去る十二日大阪商船浦頭丸の入港と共に全市大いに活氣立ちたれば之れよりは市況も漸次[illegible]盛となるべしと

●群山水道期成會

去る十一日午後の群山民團樓上に於ける群山鐵港水道期成同盟會總會に於ては會長に佐藤政次郎氏副會長に[illegible]氏を大多數にて推薦し水道調査の結果は委員長橋本央氏より報告あり協議したるが敷設に關しては之れを民團に一任すること決定し[illegible]の結果は[illegible]

[illegible]鑛本[illegible]報告あり[illegible]測は[illegible]井居留地會技師に依托し來る二十日迄に終了の豫定なるが一方水道敷設に付き一任せられたる民團にては佐野[illegible]の設計に基き之れが準備に着手するに先立ちて補助請願の件を次回民會に附議すべしと因に次回の總會は港灣調査の終了を俟つて召集し運動方法其の他に付き協議すべき筈なりと

外事一束

▲信任 土耳古議會は大藏大臣ヂシャヴヰドベーの功を認め信任決議す。

▲擊退 土耳古軍隊はエーメン地方に於ける叛徒と交戰遂に之を擊退せり。

▲謝罪 波府は尉官一名下士卒[illegible]殺の罪を問ふ爲露國哥に伐討隊を派遣す。

▲辨駁 獨國が墨國內亂に乘じモンロー主義反對の米紙記事虛と獨紙辨ず。

▲警戒 南亞米利加智利國政府にては同國北方の諸港灣を武裝すと決す。

▲緘默 羅馬法王廳にては獨帝相の警告的演說に對し別に答辯せずと決す。

▲當然 法王廳緘默は答辯せば紛擾を重ぬこの埋由是れ坊主として當然也。

▲墨國 風雲登急に迫る墨政府は全國に[illegible]憲法上の保障を中止と決定す。



召使れ初　黑法師

（第二十八回）

[illegible]まで[illegible]では[illegible]せぬ[illegible]郎は[illegible]を[illegible]し[illegible]「實は少々[illegible]ますからの便宜を手繰つて、[illegible]探索[illegible]と云ひ立て、仕官[illegible]中人の者申しますると[illegible]を[illegible]し[illegible]それを便り國に身を遣し居るでございます」

「左樣か、するとまだ海の物とも山の物とも知れぬちやの」

「實に御意、なれど防州[illegible]兵學[illegible]者[illegible]召抱への御所望なからず、頼つて恰好の者御探索あらするやに聞き及び居りまするで、此事乾と成就のやう、仲人の者申し與れるでございます、なりや遲うて二ケ月の間に、又上田[illegible]かと內々心の暗照し居るでございまするが、あらするやうの身分となる事もあらう」

「ちやが喃、武士は武藝伎倆よりも、心を大事に致すでの、いかに兵學の選人でも、この行爲に缺ぐる處あつては眞の武士とも云はれぬでの、私はそなたの前途を危むぢや、人は自分の作つた罪科を、自分で罰する場合多いでの「唯今になつて後悔致すでございます」自分で作つた罪は自身で償ふ外ございませぬので以來は只管孝道、幸ひに仕官の望み協へば、只管に忠義の道を踏んで自然に此大罪消滅を待つでございます、矢傷太刀傷砲傷も、急所さへ外れてあれば、全快の時ないにも限りませぬ、私今日まで不孝不貞の罪犯しましたではござりまするが、この後改心

なたほどの不遠見にはうれだけ根强い憾悔を要する、構へて妹に追ひ越されるな」正木の家の繼嗣は外にない」佐五右衞門はきつと意見を加へたりき、火の点きたる薪は風の煽ぐに由り烈々と燃ゆ、一たん改心の芽を吹きぬる人は賊ある異見に由りていよいよ決心の臍を堅むる、佐十郎は默默きたるまし詞なかりき、濱田公へ仕官の望みありといふも、三五郎一業の頼みなき詞を頼みに思ひて、老女澤野に紹介らるゝ日を待ち居るのみ、實に佐五右衞門の云ふが如く、今にては海の物とも山の物とも定かならぬ身の上なり

ねて、推擧の事願み入るでござります云ひ捨てゝ彼は立ちぬ、れ力は引き止めんとする樣なかりき



▲人間の迷ふことなく進まば、やがて天道れ宥恕を受くる時あるべきを信じ居ります」

「私はそなたに多きを望まぬ、一たん泥に染つた網は、再び貴人の衣身に付かぬ、五人扶持十人扶持、假し足輕同心の端にても、主取の望み協へば、明らか目を瞑るとも心は殘らぬ私達は孝女ながら行爲に缺ぐる事なければ、これには天道れ惡しみもあらせられいで世に出る時あらうと存ずる、うの時妹に敗を取つては、うなた兄と生れた甲斐もない、懸念はこれおや、深い傷には强い療治、重い罪には重い處刑、う

然もすし海の物となりて、この希望空しく流れ去りたらば什麼とかせん、斯くまで堅く云ひたる言不幸にして反古となならば、更に又心なき不孝の罪を背すに當る

佐十郎は斯く思ふごとに、冷き汗たらたらと脊を浸しぬ、大石もて頭を壓せらるゝ如き苦みに堪えかねて、彼は遂に座を起ちかけぬ

「これにてれ暇、仕官の望み首尾よく遂うて、家の名を擧ぐべき時節參らば其の時改めて御對面を願ふでござります」

「うなた又出掛けるか」

「少時の御猶豫、今より仲人の家を尋

東京電報（十七日）

▲鐵道協會京城にて開催 帝國鐵道協會にては來る五月二十八日朝鮮京城に於て第八回定時總會を開く事に決定したり

▲露淸關係切迫 露國通牒 俄にによれば露國內閣會議は淸國政府の回答に不滿足の爲め駐淸公使に向け再び最後通牒の形式を以て淸國に要求を爲すべく訓令せり又同公使は最後の通牒の要求を諾さしめん爲め古城の占領を豫告したり

▲特許辯護士採擇 衆議院に於て請願中なりし朝鮮特許辯護士復權の件採擇されたり昨十六日寺內總督より各委員に對し左の如き言明を爲し該件は希望に應ずべし其の施行時期に就ては朝鮮の上定むべしと

▲杉子爵の危篤 樞密院顧問官子爵杉孫七郎氏は流行性感冒に罹り平井赤十字病院長主治醫となり自邸に於て療養中なるが心臟病を併發し熱度減退せず回復覺束なかるべしと

▲宮島上院議員光榮 貴族院議員宮島誠一郎氏病氣危篤の趣天聽に達し特旨を以て從四位に陞叙されたり

▲北海道問題否決 衆議院委員會に於て北海道拓殖に關する建議案並に北海道拓殖鐵道敷設に關する建議案、北海道鐵道敷設法中改正法律案は何れも否決、北海道鐵道敷設に關する建議案は之を可決せり

▲水道買收豫算公布 [illegible]議會に於て決定[illegible]不承諾に決せり尙同日十四日附を以て[illegible]せられたる旨十六日午後九時兒玉局長より山縣政務總監に公電達したり

●定例長官會議 十七日午前十一時より總督府に於て定例長官會議を開き山縣政務總監を始め木內池田宇佐美小松の各長官鈴木度支部山形警務總長小城屬道の各代理、[illegible]中野警務官列席政務の打合せを爲し午後一時散會したり

●第三回防疫會議 十七日午後一時より總督府會議室に於て第三回防疫委員會を開き藤田總督府醫院長宇佐美長官鈴木司稅局長岡本小城の兩技師山形中佐中野警務官列席沿岸防疫其の他に關し打合せを爲したり尙ほ當日は山縣政務總監も臨席諸般の狀況聽取されたり

●防疫會議の內容 別項の如く十七日午後二時より總督府に於て防疫委員會を開きたるが今其の內容を聞くに淸國共同防疫協定したるを以て今後に於ける該實施方法に就てなりと云ふ

●賑恤金賜與式 既報の如く京城府にては管內所在の孤獨者の[illegible]中の未賜者に對し昨十七日午後二時より[illegible]賜與式を擧行したり來賓は山縣政務總監、宇佐美長官、各警察署長、古城民長、[illegible]朴齊純、韓昌洙等、[illegible]重臣兩子及各坊長等數十名を算し府廳に假庭に設けられたる嚴肅なる式場に一同[illegible]

●議會と朝鮮問題 十七日の衆院に於て明治四十四年度朝鮮[illegible]

●朝鮮總督府に改[illegible]

●銀行法案 委員會を開き[illegible]

●外人學校の狀況 外[illegible]及之に關係を有する私立學校は各道總計七百七十八校にして[illegible]角不穩の行動を極め居[illegible]大、其弊風を一變し現[illegible]も興學の方針を以て毅[illegible]れり而して私立學校は[illegible]拘束を受けざるが自然彼等の覺醒を促がし近[illegible]なる傾向を帶び來り嗣[illegible]するもの漸次增多を示[illegible]ふ

●全道救恤者數 [illegible]孤獨に對する賑恤金を全道を通じて[illegible]金授與中なるが今其數を聞くに左の如し

京畿道	[illegible]	忠淸北道	[illegible]
忠淸南道	[illegible]	全羅北道	[illegible]
全羅南道	[illegible]	慶尙北道	[illegible]
慶尙南道	[illegible]	黃海道	[illegible]
江原道	[illegible]	平安南道	[illegible]
平安北道	[illegible]	咸鏡南道	[illegible]
咸鏡北道	[illegible]	合計	[illegible]

因みに一名に對する[illegible]三圓づゝなるが此總額は實に二十[illegible]千八百十圓の巨額に達せる由

●山形憲兵中佐 大神宮遙拜所に就て 曰く 大分問題になつてるようだが現遙拜所は彼の通り御粗末極まつて居る以上、改築か又他に遷せねばなりますまい、[illegible]に適した問題だから恐らく何人も反對するものはない事と信ず

▲中島司馬之助氏曰く 元來此問題は吾輩年來の首唱で今更意見如何杯と聞くものが野暮だ、ナニ民團では新豫算に三千圓を基本財產に繰入れたで夫んな少額では駄目だ、何故モット奮發しないのであらふ吾輩の冒論を忌憚なく公言すれば五萬圓位は投じて而うして內地から一萬圓總督府から一萬圓李王家から二萬圓を補助せしめ民團は一萬圓も支出して大々的規模の下に經營したいものと思ふ僭越ながら吾輩首唱者となつて運動の方面に任じても能い。

●醫院長會議 總督府立慈惠醫院は一昨四十二年を以て全州咸興及淸州の三ケ所に設立されたるを始めとし幾都九ケ所は何れも昨年八九月の頃に新設されたるものなれば曾て一度も會議を開きしことなく隨て事務の打合せ並に所管區域の狀況等常に書面を以てのみ報告するに止りしを以て來る二十三日より同二十八日まで總督府に醫院長を招集し會議を開く筈なり因に該醫院は道廳所在地にのみ設置せられしものなれば僻陬の郡衙所在地に出張所又は分院の設立を計畫する[illegible]種々あるも會議の重要問題として討議せらるべしといふ

●學校敷地と道廳 京城民團にて四十四年度に於て小學校の增築計畫ある事は屢報道せるが右敷地の撰定に關し民團當事者は十一ケ所の候補地を撰擇し無代貸下を京畿道廳に交涉中なりしが道廳に於ては右候補地が何れも樞要の場所なるを以て熟考中なりしが宇佐美內部長官の盡力にて十六日道廳より三ケ所を指定して其內にて撰定すべく民團へ回答し來れりといふ

●慶北の米價昂騰 慶北 慶尙北道に於ては今春以來米價昂騰に次ぐに昂騰を以てし殆んど停止する處を知らざる有樣なるが同道の中心市場たる大邱にては小賣一升十七錢を唱ふるに至れり之れ數年以來曾て無き異例にして殆ど常軌を逸したるものと云ふべくこれを昨年三月と比較するに約五割强の昂騰を來したれり昨年三月は玄米一石平均七圓八十錢なりしに本年三月は十一圓八十錢といふ稀有の高値を示せる其原因は併合後內地人の移住急激に增加し需用の著しく膨大となりしに引代へて農作は從來と異ならず結局需給の伴はざるにありと雖も又一面併合以來各種の恩賜金下賜せられ民衆一般豐にして殊に農民は曾て無かりし減稅の恩典に浴し著しく生計に餘裕を生じたる等之れ又著しく影響を及ぼし敢て所有の穀物を賣急ぐ必要なく徐ろに前途を達觀する狀態となり自然出廻りの緩漫を見るに至ると共に價格の昂騰を促したるものなりと雖へて種々の恩典に浴せざる農民は現在にても近時豫想以上に米價騰貴したる結果持米一部の賣却に依つて優に其生計を支へ得る爲に是亦有米全部を賣放さず何れも貯藏して不時の用に備へんとするにより賣り腰頗る强く益々出廻りは減少するに伴ひ需用は日を加へて增進し茲に價格の暴騰を來したるなり而して今後の價格の如何は豫測し難きも一般農民は本年の植付を見るにあらざれば容易に貯藏米を賣らざるものゝ如き狀態にあれば現今の價格は當分變動を見ることなかるべく或は極度十八錢位に達するやも計られずと大邱より歸りし某商は語れり

●三南線工事區域 三南鐵道木浦建築所の所管工事區域は木浦四街里（四街店）間六十五哩にして之れを大田、木浦間の總哩數百六十餘哩に比せば大田、四街里間の方長距離なれど大田方面よりは既に昨年度より起工し居る爲め本年度大田方面よりの起工點と四街里間は矢張り七十哩以內にして木浦、大田兩建設所工事區域は雙方共同距離位ひなり因に木浦、四街里間に於ける難工事は木浦、羅州間を最とし此の間隧道四ケ所あり而して隧道の最も長きは四街里の長城井邑兩郡に跨る山脈を貫通するものにて延長實に六百餘間に亘るべしと云ふ

●漁業令改正近し 朝鮮漁業法改正の事は曾て報道せる所なるが既に總督府に於ては立案審議濟となり近々制令として發布すべく改正案は內閣法制局へ廻附同局にて審議中なるが[illegible]

●明石總長の消息 上京中の警務總長明石少將は今回歸任期未定なるが最近電の消息によれば十七日以後とあれば蓋し本月下旬ならんと云ふ

●實業視察團出發 京龍郵 [illegible]中なりし朝鮮實業視察團の一行は愈々十八日午前當地出發鎭南浦に向ふ由

●東拓本社假建築 東洋拓殖會社にては愈々本社を明治町角に假建築をなす事に決し建坪四百三十坪[illegible]

▲人さま〲▼（九）

宇佐川一正君

朝鮮開拓の大使命を仰付かつて居る東洋拓殖株式會社總裁陸軍中將正四位勳一等男爵宇佐川一正閣下も素つ裸体にすれば何の奇も無い平々凡々漢に過ぎない、君公使館付武官時代居留地の雜商や愛妓を其官舍に驅り集め、靑丹四光の亂戰に夢中となり、盛裝姿を揷つ込みながら徹宵輪藏の戯れをしたのは蓋い人は誰れも知つて居る……人每に一つの嗜好はあるものを見よ慶會樓に催せる視察團の歡迎會に於ても模擬店蕎麥屋の前に到るや、腹の蟲が承知せず有象無象と一緒になつて掛け蕎麥を頬張つて居る、而かも閣下の御前親ら丼を洗つて代りを命ずる處中々愛嬌があつて罪が無い、好きのものに向つては眼も鼻も無い處所謂天眞の流露でがなあろふ。

●出張中の小原局長 南韓視察中の小原地方局長は目下光州に在り歸任期は二十二日の豫定なりと

●警務總長の招宴 警務總長代理山形中佐は十七日午後六時より倉富司法部長官、渡邊高等法院長、國分檢事長、各控訴院長檢事長地方裁判所長檢事正司法部高等官各[illegible]四十餘名を花月樓に招待し盛なる晚餐會を開きたり尙ほ主人側より司令部及警務總監部各課長も列席したり

●十八銀行支店長披露宴 新任當地十八銀行支店長足立瀧二郎氏は來る十八日花月樓に紳士紳商多數を招待し盛んなる披露宴を催ふすといふ

●太田副官の歸任 久しく沿岸防疫狀況視察の爲め各地巡視中なりし太田憲兵司令部附副官は十六日夜歸任せり

●岡崎遠光氏歸朝 日韓瓦斯總會列席の爲め東上中なりし岡崎瓦斯會社長は一兩日中歸京すべしと

●汚物稅滯納者へ注意 龍山區域內に於ける汚物掃除稅滯納者は非常に多數なる爲め居留民團役所にては年度末整理上不日滯納者に對し滯納處分を爲すとの事なれば右滯納者は至急納稅せらるべし

●鴨綠渡江危險 鴨綠江の堅氷も昨今益々脆弱となり十五日の如きは渡江會社棧橋附近より上流江岸一帶江心に掛けては凍氷全く融解して碧波の漂ふを見たるが尙ほ架橋點より下手も安東縣側は處々解氷して宛も湖面の如き狀を呈し六道溝以南は殆んど船舶の航行に差支なき迄に解氷せるが而かも對岸新義州側に在りては江岸一帶猶は依然として堅氷に鎖ざされ居るは之れ全く對岸は遠淺にして水流頗る緩慢なるが爲めなるべし斯くの如き狀態なれば安義間の渡江は昨今益々危險を告ぐるに至り鐵道側及渡江會社にては從來貨物は百斤を限度とし居たるも三日前よりは七十斤迄に制限し架橋點附近より午前丈け辛うじて連絡を爲しつゝありたるも十五日の如きは午前十時三十分頃迄總の交通を計りたるのみにて以後は全く之れを中止したり去れば安東縣仕向けの貨物にして昨今新義州驛に停滯せるもあり是等は解氷後にあらざれば到底輸送の見込なしと

●京博出品物縱覽 農商工部に於て準備中の京都紀念博覽會出品物は地方を除くの外京城は全部蒐集し得近々發送に就き十七日元特許局跡へ陳列し實業視察團の觀覽に供したり

●驛名改稱告示 京義線岑城驛を來四月十五日より侖郊驛と改稱する旨本日告示となれり

●鹿兒島の視察團 鹿兒島新聞社主催の朝鮮實業視察團八十五名の一行は愈々來る二十四日神戶の豫定を以て出發したる旨[illegible]に通知し來れり

●實業視察團の京博出品觀覽 入京中の實業視察團一行は農商工部元特許局跡に陳列しある京都博覽會出品を觀覽し農商工部にては一行に茶菓の饗應をなせり

●叙任辭令（八日付）

全州區裁判所判事　千綿[illegible]
補安東區裁判所判事
安東區裁判所判事　川崎[illegible]
補金泉區裁判所判事
朝鮮總督府判事　畑[illegible]
補全州區裁判所判事（十級俸下賜）
朝鮮總督府檢事　栗山勇吉
補仁川區裁判所檢事（十級俸下賜）
朝鮮總督府判事　松下直英
補木浦區裁判所判事（十級俸下賜）

公人私人

▲水島善一（岡山縣農業獎勵組合）[illegible]州旅館
▲木谷受治郎（岡山縣農事試驗場技師）同上
▲大津誠吉（理學士）巴城館
▲寄家正義（開城蔘政課技術部長技師）[illegible]旅館
▲愛甲卯八郎（追田商店總支配人）同上

●恩賜金で保護契 忠淸北道堤川郡北面內の兩班儒生にして恩賞金の下賜に浴したる向きは過日集會を開き種々協議の末、恩賜金より若干を出資醵金して保護契（我邦の賴母子講）を紀念[illegible]

▲慶會樓の歡迎會▼今度[illegible]た實業視察團は兎に角粒が揃つて居る、言葉を換へて言へば或る階級の顔揃ひである、此連中から大に敬意を表さねばならぬと思ひ歡迎會に臨む事にした▲處が視察團多數の感想を聞ふと豈圖らん視察は付けたりで矢つ張り朝鮮見物なのだ、則ち赤毛布の江戶見物と何等撰ぶ處ないのだから驚かざるを得ない▲度支部の藤原君が見物と稱すれば何となく聞ゑが惡いが、視察と云ふと如何にも立派に見へる、實に不思議なものであると言つたが、思ふに該團体も此邊に顧慮して朝鮮見物といふを憚かり堂々視察團と出掛けたのであろふ▲併し視察と見物、其目的に於て大に相違がある、面白半分見物した者と見物で、研究調査する意味の視察である、ソコで今度の該團体は其何れに屬するかといふと如上多數の感想を聞いて實に情けなくなつた▲去れば歡迎會は流石に盛大を極めた、主人側として會費を出したものが內地人百六十名朝鮮人が百餘名、正賓が二百二十八名陪賓が百餘名一寸六百名に注された▲之を色別すれば小松園分頭の三本筋が始め總務部警務總監部の重なるもの及民間商業會議所の役員等貴族等又朝鮮側では李完用以下十數名の貴族さへ列して居る、視察團以て光榮とすべしである尤も度支部內務部各課[illegible]行は全然見ゐなかつたが▲會に此盛況を見たのみならず、會場の朝鮮料理を始め日本式の模擬店は數千の巨費を客まず設備されてある、僅かの會費で能くも彼んなに饗應するもの豈に記者のみではあるまい實に豪んなものであつた▲斯んな然騷ぎをして視察團の滿足を買つたのだ、丸で初會の大盡客を待遇する遊女の寸法である、視察團諸士若し情あらば裏を返へして男の顔を立てねばなるまい（不渇）

[illegible]者と[illegible]すると同時に[illegible]の深大なるを永遠に銘記せん事に決し[illegible]起案中のよし[illegible]とは面白き計劃と云ふべし

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客　十六日の分
乘車客　六〇一　下車客　七五二
乘車賃金　一二九、三四

▲南大門驛荷扱高　十六日の分
發送　[illegible]噸　到着　三八〇噸
貨物賃金　八六三、〇一

▲龍山驛乘降客　十六日の分
乘車客　一九三　下車客　二二五
乘車賃金　一七八、五一

▲龍山驛荷扱高　十六日の分
發送　〇噸　到着　一一四噸
貨物賃金　一二八、三五

▲治外法權▼ 此頃の內地の新聞にはドレにも是にも寺內總督の非難攻擊が書かれてある、書く新聞紙も書かれる總督も[illegible]か何にしても困まつたものであるのだ▲一體寺內總督は新聞嫌ひではないのだ、併し如何に新聞紙とは云へ、新聞紙の効用を無視する程の新聞嫌ひではないのだ、されば[illegible]京城日報と云ふ立派な機關紙を有し、コレに因つて總督政治を翼賛せしめんと企てられて居るのだ、只だ如何にせん京城日報は總督の施政に對死せんとする程の忠實者ではない[illegible]のだ、故に其言論は啞を沈默若しくは緩退するに何等の活力がないのだ▲レはソウと此頃內地の諸新聞に載せられたる寺內總督攻擊の記事は一體何れが材料が何人に依つて供給されるかが疑問だ何となれば多くの記事中其大部分は所謂新聞種なる者なる事中には隨分キワドイ種も少からぬ樣であるからである▲成人曰く寺內總督は今や總相として二三同僚閣員の嫉視を受け、二三の同僚夫は大浦、後藤、平田等であるのだ、而して彼等嫉視の源因は總督が日韓併合に因つて餘りに聲望を高め、他の閣員を壓し事に因れば總理大臣にも成りかねまじくなつたからであるのだ▲茲に於てか謀めたり、寺內總督攻擊の記事は嫉視の彼等が故意に手を廻して新聞紙に掲載せしめ、暗に總督の聲望を殺ぎ、以て總督をして自己等を壓せしめざらんとするのである▲以上は記者の透視したところだ、而して記者の透視は決して間違はぬ積りだ、されば寺內總督にして新聞紙の攻擊を止めさせんとせば、先づ以て自己の聲望を低め、內閣に於ける自己の勢力を自ら減ずべしであるのだ、左もなくんば總督攻擊の記事は未來永劫絕ゆざるべし

▲相場電報（十七日）　明治町西村支店發表（四月限）

[illegible]

●拾得 十六日午後一時頃仁川新町[illegible]

[illegible]京畿道廳構內に[illegible]七日午後七時より旭町二丁目名古屋城[illegible]

제653호 1911. 3. 18.

入營兵入の附添を給び届出でたるに退て五日間の會期を了へ講習生男女三十失業は浪町三丁目由田與太郎と同上して…下渡し古律には相當期渡せ…りと

●禁酒演說會 京城禁酒會にては十…

不粋な注文か



ねちやねちやせんぞ、お茶を賣る家のお茶屋にはあらで、うまき物を食べさせ酒を飲ませる、料理屋のことをいふなり、此お茶屋について例に依り又出しの注文を並べて見やう、宴會又は一人二人の小宴其何れにもせよ、お茶屋へ足を踏み入れるほどのものは、みんな粋様許りで、決して野暮をいはぬものと啓め玉ふな、此我未だ粋しらずの男、其分際で野暮を注文するなぞ、怪しからぬ沙汰と、お茶屋連中から叱られればはいお詫びとあやまる許り、マア世の中は萬事が酒おや、僩に繰わる

お茶屋へ注文

酔ふての上の嘯言と聞き流がしたら、萬更損にもなるまいと先づ一言お斷り。

宴會

招待の宴會は固よりのこと自腹を割つた宴會でも、男の方は聊からう筋はなく、いされ宅に出ましといふ一節が普通なり、されど若しはお妾はしかれども以て、主人の招きなど、悲しいかな酒癖ありて、旦那様を持たる御方には、又や今晩も二次會かないかの顔の憎いあの鑑着に、うつしを抜かし玉はすやと、つくつく胸を痛め玉ふも普通なり、又子供持ちたる

家庭

にては母御の態度を伺ふての所為か、父親の宴會に行くときは、鹽り好い顔見せぬも亦普通なり、それからあらぬか内地殊に東京などでは、宴會の歸りに特別の場合(會費の安きとき)又は特別な料理を食べに行くときなど、此の外はお

土産の折御持參

のこと流行す、此こと聊下司な様なれど、家庭に取りては、何ほう嬉しきことならずやと我は

るわしき

云ふなり、其何故なるかは、大抵想像出來うべからんも先つ重なる利益を數ふれば、家庭では一寸出來ぬ口取などを、家族打寄つて食べられること、分けて婦人子供なぞは動物の料理を好むこと、而も御本膳の御主人が下戸黨なら、ば、ならず知らず、さなくば大抵此口取なぞ口にせぬゆへお茶屋に置土產となるべく、言はゞ

廢物利用法

に叶ふべし、又內地では口取の折の外にも良く菓子折なぞ添ゆるもの、これは

恐ろしき女の半生

▽井門支店濱次の懺悔談(ものじ投)

のなきところなり、而も彼方のは弓矢八幡嘘偽らず我の親切からなるは、れたいこならで相模から頼まれての、れたいこならで相撲から頼まれての、それは讀者のお考に任せ、奥異實に宗十郎でお奴は馬鹿ですね、何も彼も妾の言ひなり次第右向け右

前ヘーオイ、左向き右前

二オイなの、二晩と一日に貫ひ果したのが百十圓と少う斗り、此方の遊びは夫れに較べると嬉いものちやアありませんか、一日一夜がたつた十圓、思ふと女は損ですね。

惚氣ぢやないんですよ、惚氣ちやないがですね、別秋る時に紀の國屋が妾にね「何か紀念を戴きたい」てね、おやありませんか、ね、云ふ事が可愛いのよ、其時の妾はね避ばうの量見で他を欺さうの了見ではないのですから

隅田川

チヤレられて見ると面白い、一盃機嫌の咬へ楊枝花のお江戸は隅田川イザ言問ひの都鳥は時候違ひの情けないに夫ればないけど竹屋の渡し櫓場傘戸はホントウに朝煙つてる欄干に倚つて眺める目の下をギイツギイツめかい女の曳船のない味氣ないめ、緒のない如く

ソリヤ美い聲だつけ、アノ船頭がオヤチ旦那さ一の宮殿なら妾しや舵櫓掴んで一寸角田川を上り下り一錢蒸汽の身似をして暮すも惜しくないと…其時だけちやア有りますかね妾しやックやックと思ひましたね。と又やまな白鬚脇日に溶けると遊て流れて三島へ落て三島女郎衆 化粧水

聖天の

アレ見やしやんせでよ

森は此の頃の言葉で言へば水蒸氣に籠められて霞う、ウスーク、夫れで妾が芽出度く此所に隅田川なら此の大話はないのでしたよ。其の景色に茫然と見惚れて居る、トンウッり何やら肩に掛る、フト見返ると夫れが貴郎、紀の國家ちやアないか、んか、

黄八丈の眞新らしい丹前を

……親切でしよう。硯汁も名物だが夫れよりは妾はね濃汁にして利根の鯰を胸切りの淡白一本蠣けさして面白い間か切り揚げ時と単の上から香妻橋を右と左に振り分けの二ツコリ見台はす目がシプコリ、男前嶽と云ふものゝ

宗十郎も可愛

い男よ、アラ惚氣ぢやない全くよ。

話は前へ戻りますがね紀念に遣つたは此の小指の尖程もある異珠を箝た

ゴールドリング

エ、間違つてたら訂正して置いて頂戴よ、片言雜りは女の平常でさア、お加けに酔つて件の如き体裁、ヤ、他愛タワイ、ホホ、ホ、、、、。

手附として受取つた百五十圓は此れでアイ、比例を取ると妾がね、丁度一年半ばつかし稼がにや返せぬ夫れ丈けをタツタ三日で、費つて見れば働くのは厭になつたで左様なら出鼻けべエと思つたが夫より殘つた

一百圓

頂戴してが宜からうと思ひ直して微酔いホテル顏をば千鳥なく寒い川そば渡る風に快よい醒弄らせて、

大日本浪花節番附

明治四十四年 二月改正

大關 名古屋 早川燕平	勸進元 東京 浪花家 駒八	大關 大阪 吉田奈良丸
關脇 東京 春日亭清吉	差添 大阪 本芦鶴	關脇 東京 武藏家嘉市
小結 大阪 中川伊勢吉	横綱 東京 桃中軒雲右衛門	小結 九州 一心亭辰雄
前頭 東京 東家樂遊	大關 東京 浪花亭重松	前頭 名古屋 小圓治
同 京都 浪花亭大數	同 京都 鶴甲齋	同 東京 玉川勝太郎
同 大阪 京山〆太	同 京都 廣澤	同 同 浪花亭峰吉
同 東京 浪花亭〆太	行司	同 名古屋 原風聲

大關 大阪 森川友春	行司 東京 三叟	大關 大坂 扶桑軒愛翫
關脇 東京 鶴甲齋虎丸	同 名古屋 浪花家辰丸	關脇 同 京山恭造
小結 同 桃中軒右衛門	同 同 吉川小竹	小結 同 廣澤虎造
前頭 大阪 桃中軒鶴圓	同 東京 鶴甲齋虎吉	前頭 名古屋 大和家錦
同 同 浪花亭松蜂	同 名古屋 湊家大夢	同 東京 浪花亭愛造
同 同 桃中軒巴右衛門		同 同 京山大圓
同 同 廣澤菊路		同 同 鈴木亭小圓
同 同 京山春駒		同 名古屋 早川燕朝

大關 名古屋 湊家愛蝶	同 三州家 一八	大關 名古屋 三河家圓車
關脇 大阪 浪花亭重治	同 浪花亭一勝	關脇 同 吉川勝時
小結 東京 浪花家辰之助	同 寶家重樂	小結 大阪 廣澤當昇
前頭 大阪 京山松安	同 浪花亭駒衛門	前頭 同 吉田虎右衛門
同 同 吉川小燕		同 同 吉川今勝
同 同 廣澤呂虎		同 京都 京山幸玉
同 名古屋 東洋月右衛門		同 同 旭亭花丸
		同 東京 岡本梅壽軒

大關 大阪 京山大多福	勸進元 東京 早川辰燕	大關 大阪 鶴甲齋虎好
關脇 名古屋 吉川辰丸	後見 同 廣澤虎吉	關脇 同 揚柳軒春風
小結 大阪 浪花一右衛門	頭取 名古屋 吉川虎丸	小結 東京 浪花亭綾吉
前頭 東京 鶴甲齋虎之助		前頭 大阪 京山圓之助
同 同 浪花亭重友		同 同 吉川小島
同 同 東家樂燕		同 同 京山大和
同 同 京山愛昇		同 同 旭亭貞雄
同 大阪 吉川房雄		同 同 浪花叶
同 同 吉川小辰丸		

横綱 東京 東洋軒雷右衛門
大關 大阪 京山小圓
前頭 名古屋 白浪庵滔天
前頭 大阪 浪花家小虎丸

大關 大阪 京山若丸
大關 九州 尾藤一調
前頭 大阪 桃中軒星右衛門
前頭 東京 末廣辰丸

勿論嬉しい方ですよ、…(つゞく)

ら思ふさゾッと致ますよ

●每日申報の公判

每日申報發行兼編輯人十一は明治四十四年一月一日發行第千五百六十二號の紙上に金華山人石介生の寄書なる韓國佛徒を日本內地曹洞宗に隷屬したり云々の一文を掲載したるが韓國佛徒の代表者たる京城東大門外圓宗々務院より該記事は事實相違の點ありとて辨駁書を每日申報に送り掲載方を要求したるに之を掲載せざりしより告訴され京城區裁判所檢事洪檢事新聞紙法第二十條三項に違犯として起訴せられ同裁判所刑事部法廷に於て權判事洪檢事の係りにて公判開廷せられ被告辯護人として岡田辯護士出廷事實の審問終りて檢事は有罪の論告を爲し辯護人より該寄書は一の意見にして事實相違の辨駁書も寄書的意見に過ぎざれば之を掲載するを得ざるは編輯人の權限にして新聞紙法第二十條第三項に該當する違犯は如斯場合に適用す可きものにあらずと無罪を主張し次回開廷日に言渡す可しとて閉廷したり

●淸國人の上告

日鮮併合の結果治外法權撤去後外國人の犯罪を檢擧するに至りし以來重罪事件は少數なるが義州警察署に於て淸國人の重罪犯を檢擧し高等法院迄上告しつゝある事件を聞くに犯人は淸國人王洪發なる者義州府街に於て治外法權撤去以前に強盜幷に傷害罪を犯したるが治外法權撤去後に於て義州警察署探知之を檢擧せしが平壤地方裁判所義州…懲役二年に處せらる

以前の犯罪は領事裁判に屬す可しとて公訴を受理せずと却下したるに檢事は之を控訴し平壤控訴院は之を受理し懲役七年の言渡を爲し被告より皆川辯護士に上告代人を依賴し高等法院に上告せしものにて來る三月三十一日の同法廷に於て公判開廷ある筈にて皆川辯護士は上告趣意書を提出せりと

●仁川疑獄の豫審終了期

仁川米豆取引所取締加来榮太郎同監査役桑野良太郎の二氏は別項記載の奧田氏保釋につき目下豫審判事の手にて晝夜兼行審理しつゝあれば大に進行し今後七八日にして兩氏の豫審も終結するならんと云ふ

●奧田氏保釋出獄

仁川米豆取引所監査役奧田貞次郎氏は二月十三日其筋に拘引せられ仁川監獄に收監され居たるが十六日保釋を許され歸宅したりと云ふ

●淸人呂氏の判決 淸國山東省生當時仁川支那町二丁目華昇堂方同居呂氏は去る十三日自宅にて阿片吸飮し引致せられたる事は既報の通りなるが一昨十六日京城地方裁判所仁川支部に於て懲役二年に處せらる

●土地所有權判決 仁川龍岡町三丁目宮町巳之吉氏は本町三丁目世昌洋行內淸人王成鴻を相手取り仁川府內面外洞の房地六十二万方米實入の所有權確認を爲て仁川區裁判所に提起せしが十六日原告の敗訴となる

●恐みの放火 京畿道果川郡上北面舍堂里七統十戶農業鍋香(四〇)は今より六年前隣家なる劉命甫の雲會費年が已に…

が長男妾守眞の妻李姫伊を誘拐し之を仁川にて賣り飛ばしたるを常に遺恨に思ひ居たるが去る十一日午後七時頃妾の劉方の軒下に積置有りし柴に燐寸にて放火家屋一棟及び家具家財悉皆燒せしめたれば銅雀里出張所に逮捕され目下果川分遣所に留置取調中

●無門關提唱 曹洞宗兩大本山別院(若草町一丁目)に於ては明日曜午前十時より主任田中老師の同錄提唱あり傍聽隨意何人も参院せらるべし

●演藝だより

●壽座 引續き大入なる立志團十八九兩日の藝題は日蓮宗の功力不孝の天罰蛇の執念至九場にして主なる配役は法華十林勇(稻葉)町藝者すゞ(淺井)三五郎 岡部)佐々木辯護士(青山)中山上人(一二三)叔母お貞(作造・加藤)娘お花(齊井)芳江(花浦)下男吉造(北村)

●浪花館 浪花節吉田春圓一座十八日の語り物は天龍川仇討吉岡武勇傳(京山愛幸)矢面命太(吉川敏夫)伊賀の水月荒木美談(喜樂亭八)生御千吉(日本軒雲龍)令孃の罪、因果の裁判、梅山大佐、前席小栗判官(吉田春圓)

運の勢日

三月十八日舊二月十八日三碧丁亥先勝成△一白旅行を缺く日取組婚儀談合中裁判に急ぐ他は靜運△二黑昔借取引貸借間違起らんとす旅行起業開店轉任金談婚談凶△三碧詐謀障開其他口舌の難に遇ひ易し盜害横領防ぐべし旅行開店起業移轉婚談凶△四綠色情閨門の案を戒しむ業務上競爭延引密度の日なり火の元用意すべし△五黃盜害紛議起り易し建築農事常と外手控への事△六白壓迫外に疑ひある事あり取引貸借金談婚談運盟効あり離し起業開店旅行移轉に凶△七赤誘弊に陷り易し擔保方針替移轉吉他の行事手控へ若くは見合の事△八白徒勞多し見越賣買及投機的行動を戒しむ婚談連合談合組合凶△九紫不和確隔を戒しむ他は會心の日大抵吉婚談旅行命名披露開店起業尤も良し(本町五丁目三一館判斷)

謹告

拜啓小生義京城在勤中は公私御懇情を辱ふし奉深謝候陳ば這回長崎本店へ轉勤致候に就ては將來不相變御眷顧に預り度乍略儀此段紙上にて御挨拶申上候 敬具

追て留守中書類は當分左記の處に御承知被下度申添候

鎌倉、長谷 三橋別館
清水文之輔

日韓瓦斯電氣株式會社第五回決算報告

貸借對照表

資産之部

一拂込未濟資本金	六〇〇、〇〇〇、〇〇〇
一興業費	七七五、四一五、八〇五
一韓美電氣會社權利及不動産	八四、一五三、三八五
一貯藏品	二四九、五五七、七八八
一銀行預金	一七八、八四七、四六〇
一預託金	六九八、〇〇〇
一假拂金	三四、〇八七、八九七
一未收入金	四五、六七二、八九七
一有價證券	二、三七五、〇〇〇
一現金	三〇七、六八〇
合計	二、二九五、八五三、六四五

負債之部

一資本金	三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
一準備積立金	五、八四六、〇〇〇
一別途積立金	五、八四六、〇〇〇
一未拂配當金	三五八、四六〇、〇〇〇
一借入金	五〇〇、〇〇〇、〇〇〇
一支拂手形	三〇〇、〇〇〇、〇〇〇
一預り金	九、四五四、〇四〇
一假受金	六二六、六〇〇
一未拂金	一四八、七八七、八〇〇
一前期繰越金	八、三七一、〇八八
一當期利益金	八〇、四六四、二七二
合計	三、九二五、八五三、六四五

損益計算

一本期總收入金	二五五、五八八、八七三
一本期總支出金	一七五、一二四、六〇七
差引	
本期利益金	八〇、四六四、二七二
前期繰越金	八、三七一、〇八八
合計	八八、八三五、三六〇
內	
準備積立金	四、〇二五、〇〇〇
別途積立金	四、〇二五、〇〇〇
役員賞與金	三、五〇〇、〇〇〇
株主配當金(年七分ノ割)	六八、二八〇、〇〇〇
後期繰越金	九、〇〇五、三六〇

右ノ通リニ候也

明治四十四年三月 日韓瓦斯電氣株式會社

取締役會長 高松豐吉
專務取締役 岡崎遠光
取締役 久米良作
同 大橋新太郎
同 白石直治
同 山口太兵衛
同 白寅基
監査役 伊藤幹一
同 平澤道次
同 金時鉉

右調査候處相違無之候也

三月十七日 金 高 枚數 一〇四、五〇七、九一 四二一
▲京城手形交換高
▲神戸富 電錄引 三四、五〇 三四、五〇 三四、八〇 三五、〇〇
▲大阪株式(四月限)
▲紡績 同 六六、四〇 六六、七〇
▲鐘紡 同 一〇八、三〇 一〇八、四〇
▲東京 同 一一、二〇 一一、九〇
▲株新 同 一、三〇 一二、〇〇
▲取引 同 二九、五〇 三〇、四〇
●十六日前場三月止十五圓七十錢▲四月止八十五錢▲五月止九十八錢▲後場…
▲仁川米豆取引
●十七日前場三月寄り十五圓七十錢▲…
●十六日後場三四月出來不申▲五月…七十六錢▲…

●諸公債諸株券 現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
京城本町三丁目
大坂野村德七代理店
田中友吉商店

りん病患者に警告す

サンタール 病んり
獨逸大學病院處方 SANTAHL

サンタールが淋病に特効ある事は今や天下の醫界より施されたる所なり…
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房
濱田北辰堂藥局

小兒かんむしの良藥
○ひかん○むしけ○ちゝのあましり○ひきつけ○ねむせ○ちばなれ○かべつちをかむ○かほてあしつりなどに大効あり

保壽圓
價五錢●十錢●二十錢●五十錢
本舖 大阪堂島蜆橋 高橋盛大堂藥局
全國到る所の藥店に販賣す
代理店 京城本町五丁目 小下大盛堂
同南大門通三丁目 新井藥房

氣節既に一變せり當起從は同朋男女神易に依りて吉凶を前知し開運幸福を期せよ
京城南米倉町和樂園下 一心堂

池坊生花教授
今般諸君の御便利の爲め左記の所へ出張所を設置候に付御希望の方は御申込被下度候
京城永樂町(赤門前) 光齋秀庵
龍山驛橋内 今井宅
京城新町 難波宅

英子ール

美子ール飲んで王になりし我うみなれにみとつる人りまたあまけり

京城本町二丁目 丸英原商店 電話四八三番
仁川 丸英出張店



本邦學界の名譽 世界の醫藥兩界に誇るべき 一大發見
○本品は藥學士が多年研究の結果發見せられたるものにして加ふるに上記專門醫大家に依つて藥化學的試驗及臨床的實驗等に於て從來公知のバルサム劑に比較し殺菌力卓越し胃腸障害等の副作用を絶對に誘發せず利尿の効尤も著しきが故に泌尿器疾患殊に淋毒性膀胱炎、尿道炎、消渇及一般急性、慢性、淋病に優秀なる偉効を奏する理想的治淋劑なり
○本品は原液五百瓦、二百五十瓦、百瓦、廿五瓦、カプセル百粒、五十粒三十粒入の七種あり
▲到處有名藥舖に販賣す、說明書無料贈呈す
發賣元 東京銀座一丁目 ツヨール商會 振替貯金一九七二九番
韓國特約店 京城本町一丁目 山岸天佑堂 電話三七二番 振替貯金口座二〇三番

貸家廣告
溫陽溫泉湯本旅館 數棟(疊建具造作附)一切
一清潔ナル日本造二階建及平家 數棟
一堅固ナル朝鮮造平家建 全部
一溫泉浴場
右溫泉旅館トシテ貸與致候間御希望ノ御方ハ左記ヘ御來駭被下度旅館必要ノ諸道具等モ御相談ニ可應候
三月一日
京城南大門通リ四丁目
株式會社溫陽溫泉
京城起業株式會社
(電話四三二番)


光鳳
名穀 布四海
釀造元 仁川宮町三丁目 深見勝三郎
電話二四八番 電信略號 フ

弊館には夜警の設備有り
陸軍指定旅館
鐵道院指定旅館
仁川水產組合指定旅館
第一保險會社指定旅館
御客樣の安全此の上なし
旭屋旅館 電話二五一



四季のはやりかぜ、はやりかぜ、ねつ痛一切づゝうの良藥
發賣元 京都市 川杉普善堂
藥價 二日分金拾五錢 五日分金廿五錢
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房
電話九百四番 十六番 振替口座京城十六番

易○鑑齊元鈴の純八卦の相術を以て…
京城本町五丁目 生理推斷 三一館

瓦斯コークス販賣
京城本町 酒井組 電話一〇九番

★株式會社百三十銀行京城支店
電話百九十五番 五十八番 振替貯金朝鮮一一三番

資本金五百萬圓 爲替取組先 頭取 安田善三郎
畿內 大阪、神戶、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、平野、住吉、御影
東海道 津、岡崎、濱松、半田、桑名、名古屋、蒲田、四日市、山田、松阪、千葉
東山道 大垣、岐阜、中津、宇都宮、高崎、伊勢崎、前橋、若松、福島、酒田、館代、七崎、青森、仙台
北陸道 小濱、敦賀、福井、鯖江、大聖寺、金澤、高岡、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 姫路、龍野、網干、岩見、西大寺、岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、福山、倉敷、高梁、尾の道、尾山、府中、三原、廣島、吳、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、德山、萩、長府、小月、下之關、明石
南海道 和歌山、田邊、御坊、新宮、串本、高松、坂出、豐濱、川之石、今治、西條、松山、三津ヶ濱、八幡濱、宇和島、高知、德島、撫養
西海道 門司、福岡、博多、直方、飯塚、佐伯、大分、別府、臼杵、長洲、長崎、佐世保、唐津、佐賀、若津、牛津、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、坪井、宮崎
北海道 小樽、函館、
台灣 臺北、臺南、
樺太 太泊、
朝鮮 仁川、釜山、平壤、鎮南浦、元山、群山、木浦、羅州、晋州、馬山、裡里、州、大邱、羅南、新義州、城津、開城
淸國 滿州、大連、安東縣
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

銀行一般業務精々御便利に取扱申候
資本金 三百萬圓
積立金及繰越 九十九萬五千圓
株式會社 十八銀行 京城支店
京城南大門通(電話四二〇)
本店 長崎市榮町
支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山 朝鮮
日本 熊本、大阪、佐世保、嚴原、五島、壹岐
其他日本朝鮮樞要地及露領浦鹽に爲替取引先有り
貯蓄預金 (利息日歩壹錢二厘) 一口壹錢以上何圓にても御預リ申候
(十八銀行京城支店) 長崎貯蓄銀行代理店

家傳 名灸 (とひや)
●うちみ くじき はねつき
特に 胃腸病 かつけ 專門
每日午後二時迄點灸す
明治町一丁目百十番戶 荒川マッサージ院

來れり 寫眞撮影の時季
寫眞器械 幻燈器械 藥品材料一切 旅行用娛樂用營業用
直輸入
京城本町四丁目 鐵居寫眞機部
電話二六二番 振替貯金二三一番

溫泉湯 鐵冷溫泉
旅館 貸席 浴客
此の溫泉は左の如き病に最も妙なり
かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひふ病、梅毒、りん病、子宮病、血の道、神經痛、やけど、ヲヲヤ、ぜんそく、胃腸加答兒、腎臟病、ひんけつ症、きりきず、其他内用には鐵冷溫泉を併用すれば尤も効驗あり
長谷川町一丁目鐵冷溫泉 (電話一四二番)

齒術一般
京城明治町一丁目(森村賢店隣) 榊齒術所
電話(六六九番)

朝鮮牛種及牛乳改良元祖
高等 消毒 純良 牛乳
當場飼畜の乳牛は悉くエーアシヤ、ゼルシ、ホルスタイーンの最も優良なる洋牛而巳なるが故搾取する所の牛乳は極めて純良無比なり
當場畜舍及搾乳室等其他一切の設備の完全なる他に比類なし
當場には種畜牛飼養仕候間御希望の方は御申込被下度候
其他牧畜に關する一切の業務は叮嚀懇切に取扱可申候間御用命之程伏て希上候
京城南大門外 荒井牧場 (電話一〇五六番)
龍山本町三丁目 龍山販賣所 (電話二〇二番)

海州行
天草丸 十八日 廿一日 廿六日 三十日
安東丸 十九日 廿四日 廿八日
濟洋、富平、龍岩浦、鎮南浦行
三省丸 廿日 廿二日 廿八日
千葉丸 十八日 廿四日 廿六日 三十日
蓉島行
千葉丸 二十一日
三省丸 廿六日
三月 中 滊船出帆廣告
京城本町四丁目 合資會社 秋田商會汽船部

入院隨意
京城壽町三丁目(電話三七八番)
中島醫院
院長 醫學得業士 中島貞信

恩給年金 公債證券 株券へ便利な立替 確實取引 月一歩五厘
京城中部大寺洞相思洞廿九統七戶 鍾路通り東洋生命保險會社裏丁博多屋入
上州屋支店 電話九百五番

入院 隨意
附屬 京城 家畜病院
牛、馬、豚、山羊、家禽等の診療に從事す
京城南大門外 韓國畜產株式會社 (電話八八番)

寫眞 當分の間定價の半額
京城本町四丁目 (愛德病院前)
河合寫眞館

純良 消毒 牛乳
京城東四軒町 岡野牧場
電話千九十九番

蒸溜 消毒 牛乳
京城壽町五十番月の一
細川牧場 (電話一三六番)